



2020 CSR 報告書

株式会社協進印刷

2020CSR報告書

CONTENTS

2	代表挨拶
3	2020 TOPICS
4	01 マネジメント 私たちにとってCSRとは
6	協進印刷 ビジョン・ミッション・社会課題との関連性
8	02 環境面 地球環境に負担をかけずに成長を続けるために
10	環境マネジメント報告
11	環境取り組み報告
14	03 社会面 いつも地域に寄り添いともに行動する企業であるために
16	社会活動マネジメント報告
17	社会活動取り組み報告
20	04 ガバナンス面 目標に向かって実現可能性を高めるために
22	ガバナンスマネジメント報告
23	ガバナンス取り組み報告
24	各種認定

平素は格別のお引き立てを賜わり厚く御礼申し上げます。2020年版のCSR報告書をお届けいたします。

もはや耳にタコでうんざりされていることとは思いますが、やはり今年は”コロナ禍”に言及せざるを得ません。当社はもとより印刷産業全体が大きな影響を受けたことは言うまでもありませんが、私たちにとっては単なる仕事としての関わりを超えて、毎年すべての社員が楽しみに、そして誇りに思い、毎年開催されることが当たり前だと思っていた全国高等学校野球選手権神奈川大会が中止になってしまったことは、何より衝撃的な出来事でした。

コロナへの政府や世間の反応にも納得のいかないことは多々ありますが、そんな中でも自社の事業を今一度見つめ直すことができ、ピンチの中にもチャンスありを実感できた1年でもありました。いつかは改革しなければならぬと思いながら、ついつい惰性で続けてきてしまった多くのことが、「いま」やらなければならないこととして目の前に突きつけられ、毎日新しいことだらけで新鮮です。

CSRの目的が「企業の永続的成長」であるとすれば、いま自分たちがやらなければならない”次の一手”が少なからず見えているということが、取りもなおさず昨年まで継続してきたCSRの成果なのではないかと、これまでご指導いただいたすべてのみなさまに心より感謝申し上げます。

日頃からの皆さまのご厚情に心より御礼申し上げますとともに、是非本書をご一読いただき、忌憚のないご意見、ご質問、叱咤激励など賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

株式会社協進印刷

代表取締役社長 江森克治



2020 TOPICS

オウンドメディアとソーシャルマーケティングの 専門ブランド「cocollabo」スタート!

今年5月、オウンドメディアとソーシャルマーケティングの専門ブランド「cocollabo（ココラボ）」がスタートしました。

企業ブログ、ホームページ、社内報、広報誌、ユーザーサイト、会社案内等、企業や団体自らが発行する情報媒体「オウンドメディア」の企画、デザイン、制作、運営を担うほか、P17掲載の感染予防冊子など、社会と企業を結びつける「ソーシャルマーケティング」を専門に扱います。

情報発信が重要視される時代に、読み手に届く情報の選択、文章、伝わるデザインを心がけてまいります。これからの「cocollabo」にご期待ください！



cocollabo
Kyoshin Communities Collaboration

<http://cocollabo.jp>

スタッフブログが「cocollabo magazine」としてリニューアルオープン!

2017年4月のスタート以来、こつこつとほぼ毎週の投稿を続けてきたスタッフブログを、協進印刷のオウンドメディア「cocollabo magazine」としてリニューアルしました。

これまでの社員のつぶやきや地域の情報に加え、オウンドメディアの効果的な発信方法やCSR実践方法などのノウハウ記事、印刷やデザインの技術に関するマニアックな記事、当社の新製品に関する記事なども掲載していきます。

お気に入りへのご登録よろしく申し上げます！



<http://kyoshin-printing.co.jp/magazine>

01

マネジメント

私たちにとってCSRとは

GP更新資料

2019

ありがとうの日 3

★毎月10日は、★
ありがとうの日。
Kyoshin Printing

PRINTING JPN
-B10042

各種作業報告書

2BULKY FILE

FL-0030B
96-193
Plus
PLUS



TUBE FILE

使用溶剤一覧 (SDS)

A4-S 27-3cm

KOKUYO
7-630

ESSELTE

環境会議報告資料

ESSELTE

ESSELTE

用紙・刷版・色校正集計表

ESSELTE

ES

ハトロールチェック表

〈この社会〉への責任を果たすこと

CSR (Corporate Social Responsibility) は日本語では「企業の社会的責任」と訳されます。「企業の社会に対する責任 (を果たそう)」という意味になりますが、企業はまあ良いとして、社会的と責任をどう解釈するかが問題になってきます。最も解釈の分かれ目になるのは〈社会的〉という言葉でしょう。社会をどう定義するかによって当然責任の範囲が変わってくるからです。

仮に〈社会〉を「アフリカ社会」と定義したとしましょう。日本で事業を営む私たちにとってのアフリカ社会に対する責任とは何でしょう？あまりピンときませんね。せいぜい貧困で困っている子どもたちに食料を送ってあげようとか、気候変動によってアフリカに干ばつが起きているようだから、なるべく二酸化炭素は出さないようにしようとか、そんなところでしょうか。たぶん多くの人が「企業の社会的責任」を考えると、〈社会〉を「アフリカ社会」のような自分とは遠いところにある社会、そこにはお客様もいなければ、会社の仲間もない、そんな〈社会〉と捉えているのではないのでしょうか。

私たちは私たちが責任を負うべき〈社会〉を、いま私たちが生活し仕事をしている〈この社会〉と捉えています。そこにはもちろんお客様もいれば、社員も地域の人たちもいる、みんなと一緒に暮らしている〈この社会〉です。

企業として〈この社会〉に対する責任を精一杯果たしていくという考え方が、私たちにとってのCSRです。お客様に良い商品やサービスを提供することはお客様に対する責任です。社員に働きやすい職場とやりがいのある仕事と安定した給料を提供することは社員に対する責任です。同じ地域の人たちに危険や不安を与えず、地域の困りごとと一緒に解決していくことは地域に対する責任です。同じように、監督官庁に対する責任や

地元自治体に対する責任、仕入先に対する責任など、さまざまな責任があるでしょう。これらの責任を精一杯果たしていくことは、良い会社になっていくことにつながっていると私たちは信じています。つまりCSRは私たちにとって、良い会社を作るための基本的な考え方ということなのです。

私たちは、お客様に対する事業だけでなく、働き方改革や地域への貢献活動も、すべて同じビジョンのもと同じ事業計画に落とし込んで取り組んでいます。その取り組みの成果や課題を1年に1回報告させていただくのが、このCSR報告書です。

コロナ禍を経験したことで、ビジョンや事業の進め方にも変更が生じたので、報告書も従来からフォーマットを変更し、「ESG」をベースにしたものにしました。次ページに掲載の「ビジョン・ミッション・社会課題との関連性」もそれぞれの関連性などを整理し、ビジョンをより明確なものに変更しました。

取り組み報告は、日々定量的に管理しているマネジメントの報告に加え、昨年のCSR報告会以後の代表的な取り組みをいくつか掲載いたしました。

業績トピックス

2020年2月期決算(第59期)は、クリエイティブ・プリンティング関連が振るわず、また周年行事や記念誌などの谷間にあたるなど業績不振となり、売上高は前期比81.8%にとどまりました。下期から経費削減に取り組み、販売費および一般管理費を前期比95.4%まで圧縮したことが奏功し、営業利益は黒字計上することができましたが、経常利益は赤字となり、7期ぶりの赤字決算となりました。

協進印刷ビジョン・ミッション・社会課題との関連性

長期ビジョン

顧客や社会の課題に向き合い、対話を活用した具体的な解決策を提供するソーシャル・ソリューション・プロバイダーへの進化

事業活動における環境負荷低減のため、Scope1、Scope2 排出量ゼロの実現と、Scope3 排出量の極小化

顧客の持続可能性に貢献する CSR パートナーへの進化

キャリア教育の中間支援へのコミット

多様な生き方・働き方を支援する各種制度と評価制度を充実し、従業員満足度を向上

地域を愛し、地域に愛される企業へ

提供価値（協進印刷の事業領域とスペシャリティ）

- ・オウンドメディアの制作とメディア運営
- ・プロセスデザインと効果的なメディアミックス提案
- ・社会課題にアプローチするソーシャルマーケティング企画・制作・実施
- ・言葉にするのが難しい価値の言語化、ビジュアル化
- ・それぞれの「背景」を言語化、ビジュアル化することによる共通理解の促進
- ・共感を高める「対話」の場づくり
- ・背景の異なる様々な関係主体の間に立って意思疎通を図る「日本語間通訳」
- ・紙媒体の有効性を最大限に活かす印刷物の企画・製造

- ・再生エネルギー100%電力の使用
- ・環境負荷を低減する印刷物の企画・製造
- ・サプライチェーンへの環境負荷低減啓発

- ・CSRマネジメントシステムの導入および運用のコンサルティング、技術的サポート
- ・CSR監査等ステークホルダーニーズへの対応のコンサルティングおよび技術的サポート
- ・CSR報告書や社内報の作成、CSR報告会の企画・運営など、ステークホルダーとの対話を促しステークホルダーニーズを析出するための、CSRコミュニケーションのサポート

- ・あらゆる年齢層でのキャリア教育の実施
- ・子どもの育ちをサポートする事業への支援
- ・教育機関と企業の連携における中間支援

- ・ライフステージに応じた柔軟な働き方の実現
- ・自己の能力を社会に活かし、将来に希望が持てるキャリア形成
- ・多様性に富んだインクルーシブな職場づくり

- ・より良い地域づくりのための地域主体との協働

果たすべき役割（ミッション）

- ・ 社会の分断を緩和し、人々の対話を促すためのメディアと場の創出
- ・ マスメディアに乗らない情報を集め、必要な人に届ける仕組みの整備
- ・ 多くの人に理解しやすい情報加工とデザイン

- ・ 企業活動における環境負荷の低減
- ・ 環境配慮製品の企画、開発
- ・ サプライチェーン全体の環境負荷の低減

- ・ CSR マネジメントシステムの導入、運用支援
- ・ 社会の持続可能性と矛盾しない成長戦略支援
- ・ 社会課題の解決につながる取り組み支援

- ・ キャリア教育など企業だからこそできる手法での青少年教育への参画
- ・ 子どもの教育に関わる機関への協力
- ・ 教育機関と企業との連携における中間支援

- ・ 女性の労働環境と雇用条件の改善し、キャリアアップを支援
- ・ 総合的に従業員満足度の高い企業へ
- ・ 多様な働き方ができる雇用制度の充実
- ・ 公平、公正でモチベーションな評価制度の実現

- ・ 地域社会を支える市民としての企業へ
- ・ 災害時、非常時の地域との助け合い
- ・ 多様な「社会的居場所」としての会社

共通価値

社会を取り巻く様々な課題に対し、根気強く〈対話〉を続ける〈成熟した市民〉が創る持続可能な社会

対応する社会課題と社会のニーズ（枠内）

経済至上主義の進展により生じる課題

- ・ 社会的分断を緩和するインクルーシブな市民意識の醸成
- ・ リアルな声（ナラティブ）を拾い上げる手段の確保
- ・ 地球環境に負荷をかけない経済活動
- ・ 市民社会と企業活動の共通価値の創出
- ・ 信頼できる情報源と伝達手段の確保 など

持続可能性と経済成長の間で生じる課題

- ・ 組織のガバナンスリスクの低減
- ・ 倫理的行動の動機付け
- ・ 社会のニーズを適時に把握できる情報収集の仕組み作り
- ・ ニーズの変化に柔軟に対応出来る組織作り など

少子化による労働人口の減少

- ・ 未知のことに挑戦し自ら道を切り拓く人材の育成
- ・ 当事者として考え主体的に行動できる人材の育成
- ・ 幼少期から職業に興味を持ち選択肢を広げる機会の提供
- ・ 固定的役割意識の是正
- ・ 企業における女性活躍の推進
- ・ 自動化の推進と自前主義の是正
- ・ 多様な働き方と評価制度の実現 など

孤立化・孤独化の進展と地域社会の担い手の減少

- ・ 地域における企業の役割強化
- ・ 「会社」という社会的居場所の見直し など

02

環境面

地球環境に負担をかけずに
成長を続けるために



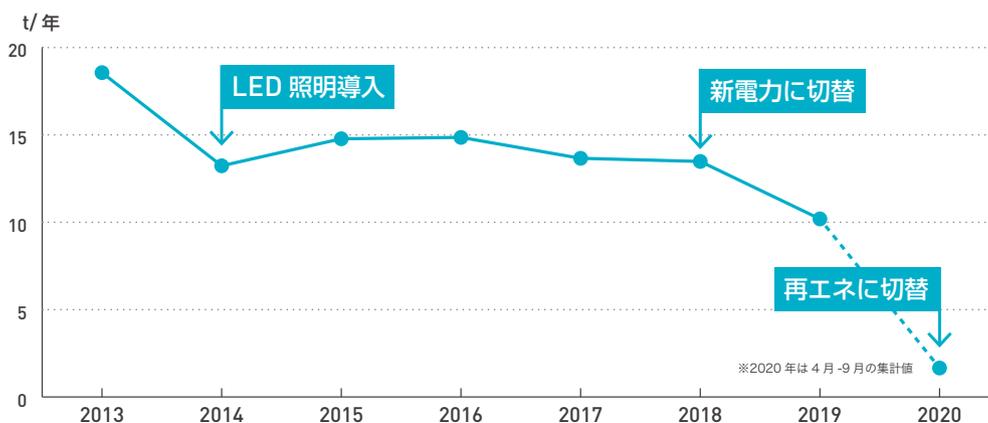
CO₂ ↓ 92%

2013年→2020年の7年間でCO₂排出量を92%削減しました。

※各年度4月～9月期でのScope2排出量（電力）の比較

今年度「Zero Carbon Yokohama」への参画により、青森県横浜町の風力発電所で発電された再生エネルギーに100%切り替えが完了しました。それによりScope2排出量（電力）を2013年比で92%削減することができました。

Scope2（電力）排出量の推移



環境マネジメント報告

一般社団法人日本印刷産業連合会の「オフセット印刷サービスグリーン基準」に基づき、2007年から環境マネジメントシステムを構築・運用し、温室効果ガスや廃棄物の削減、環境製品の開発・提案などを行なっています。

2019年度のCO₂および廃棄物の排出量は下表の通りです。近年中国政府の海外からの廃棄物受入れ拒否により、国内古紙相場が下落した影響を受け、古紙運搬業者の廃業等が相次ぎ、古紙の処分に従来より多くの時間とコストがかかるようになってきています。国際情勢の影響など、自社ではコントロール不能な環境の変化にも柔軟に対応しつつ、法令を遵守し、個人情報保護などにも配慮した業務品質が確保できるよう努力していきたくと思います。

なお、前年比が極端に小さいアルミ、金属は回収時期のずれによるものです。前ページに記載の再生エネルギーへの切り替えは2020年5月だったため、下表には反映されていません。

2019年度CO₂および産業廃棄物排出量・リサイクル量

(2019.3.1～2020.2.29)

排出

項目	排出量	前年比
CO ₂	19.4t	82%
廃油	0.28t	68%
廃アルカリ	0.03t	75%
廃プラ	0.07t	70%
一般廃棄物	765ℓ	100%

リサイクル

項目	排出量	前年比
紙	10.4t	83%
アルミ	0.6t	50%
金属	0.1t	13%



GREEN PRINTING JFPI
F-B10042

日本印刷産業連合会のグリーンプリンティング認定マーク

第 27 回横浜環境活動賞 大賞受賞

本年度「第 27 回横浜環境活動賞」の企業の部にて大賞をいただきました。本賞は、市民の環境活動を評価し公表することで、環境保全やリサイクルに対する関心を高めるとともに、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的として 1993 年に創設されました。受賞にあたっては、損紙や資材保護紙の積極的なリユースなどの直接的な活動に加えて、環境啓発セミナーなどの地域連携、全従業員が環境に対し意識的に行動できるマネジメントシステムが構築されているなどのソフト面も評価していただきました。この賞の申請を通じて見えてきた課題もあり、これからも大賞企業として恥ずかしくないよう、一層努力していきます。



中止になった授与式に代わり小林副市長から表彰状が授与されました

横浜環境活動賞とは

横浜環境活動賞とは、地域で様々な環境保全・再生・創造の取組を積極的に行っている個人・団体、企業、児童・生徒・学生の皆様を、横浜市が表彰する制度。環境保全・再生・創造に対する市民の関心をより一層高めるとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に、平成 5 年度に創設された。

〈市民の部〉〈企業の部〉〈児童・生徒・学生の部〉の 3 部構成となっており、それぞれに大賞、実践賞が、また特別賞として生物多様性特別賞が設けられている。

学識経験者等による「横浜環境活動賞審査委員会」が選考。書類による事前審査および審査委員会での審議により実施されている。第 27 回の大賞受賞者は次の通り。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kankyo_kyoiku/katsudosho/

部門	受賞者名	活動概要
市民の部	NPO 法人 海の森・山の森 事務局	青少年の健全育成、自然環境の保全、芸術振興に寄与することを目的に、幼児・小学校低学年から高齢者まで多くの人たちにに対し、独自に撮影した映像を活用し自然環境保護についての普及啓発事業を行う。小学校への環境出前授業、大岡川や茅ヶ崎沖・城ヶ島海底の清掃、写真展開催、広報紙発行などを実施。
企業の部	株式会社協進印刷	印刷時に排出される損紙を封筒やメモ帳へ、製版プレートの保護紙を包装紙へ、と再利用。企業等にリユースやリサイクルを提案し、例えばリユース封筒は社外報を送る際に活用されている。また、学校や企業、地域住民向けに環境セミナーや環境保護啓発を行い、環境教育の実施など、CSR を軸に共創を進めている。
児童・生徒・学生の部	横浜市立金沢小学校	5月にマリノフェスタとして 1年生から 6年生まで海をテーマにした体験活動（海の公園の清掃活動など）を行っている。また、4年生はアマモの種から苗を育て、海へ戻す活動を継続的に行っている。環境保全に取り組む人々の思いを知り、海が豊かになるために自分ができることを児童が主体的に考え、活動している。

Zero Carbon Yokohama への参画

本年5月より横浜市が推進する Zero Carbon Yokohama の一環である青森県横浜町の風力発電所で発電された電力を使用する契約をみんな電力株式会社と締結し、当社で使用するすべての電力が再生エネルギーとなりました。

2013年の統計開始以来、LED照明への切り替えなど地道な努力を続けてきましたが、今回の切り替えにより Scope2（電力）に関しては CO₂ 排出量ゼロを実現することができ、大きな前進となりました。

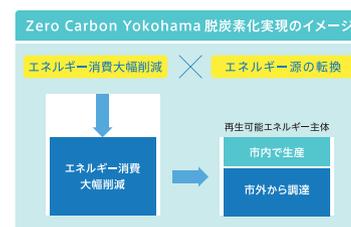
今後は社用車での Scope1 排出量と、サプライチェーンでの Scope3 排出量の削減に向けてさらに努力していきます。



Zero Carbon Yokohama とは

横浜市では、パリ協定・SDG s 採択後の世界の潮流や、国の地球温暖化対策計画・適応計画の策定、気候変動の影響等を踏まえ、温暖化対策（緩和策・適応策）・エネルギー施策の更なる強化を図るため、2018年10月に横浜市地球温暖化対策実行計画を改定。パリ協定採択後の世界の潮流等を踏まえ、2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現を、温暖化対策の目指す姿（ゴール）とし、「Zero Carbon Yokohama」とした。

この「Zero Carbon Yokohama」の取り組みのひとつとして、2019年2月に、全国で最大規模である東北の12市町村との「再生可能エネルギーに関する連携協定」を締結。協定に基づき、第1弾として同年9月より12市町村のひとつである青森県横浜町の電力を市内事業者で使用する取り組みを開始している。



横浜市「横浜市地球温暖化対策実行計画」パンフレットより

サプライチェーン排出量の研究を開始

本年度よりサプライチェーン排出量の研究を始め、10月からScope3排出量の集計を行なっています。Scope3とは、国際組織であるGHGプロトコルが提唱するサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量の算定基準です。Scope1は直接排出（燃料の燃焼など）、Scope2は間接排出（電気使用など）、その他がScope3です。

これまでScope1,2についての集計と削減を進めてきましたが、活動が軌道に乗ってきたこと、一定の成果を出すことができたことと評価し、ステップアップとして製品の輸送や原材料、廃棄物などの排出量にも目を向けることにしました。優先的に削減すべき対象を特定し、長期的かつ効果的な温室効果ガス削減に努めます。

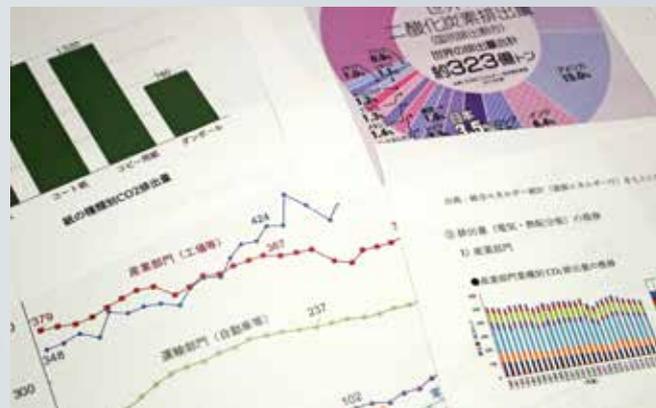
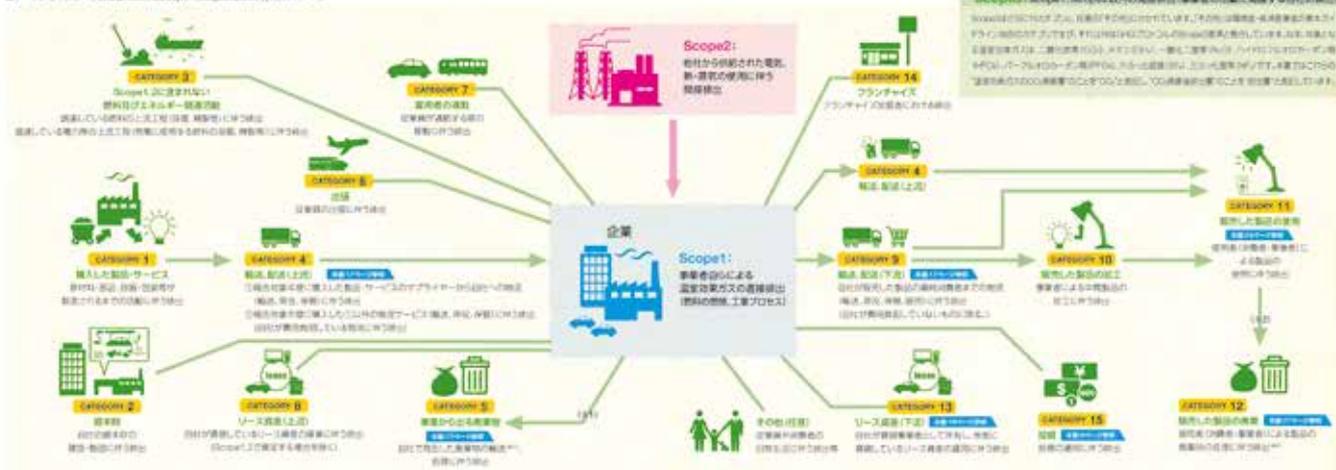


図1 サプライチェーン排出量におけるScope1、Scope2とScope3のイメージ



* Scope2の境界線の定義はグリーンパスでは、輸送は算定対象外としています。

* Scope3の境界線の定義はグリーンパスでは、輸送は算定対象外ですが、買収済み輸送は含まれます。

社会面

03

いつも地域に寄り添い
ともに行動する企業であるために

感染予防のために、できること。

All we have to do to prevent infection is simple.

新型コロナウイルス | COVID-19



exercise
運動をする



don't
touch your face
顔の口をさわらない



stay home
when you're sick
かぜ気味なら休む

27,580冊

『感染予防のために、できること』冊子を 27,580 名に届けました。

みんなが困っているときだからこそ、「対話」の機会を作り、安心や元気の素にしてもらいたい。医師やデザイナーらと立ち上げたプロジェクトで、感染予防の啓発冊子を作成。無料ダウンロードを実施したほか、14の企業、団体、医療機関等にご賛同いただき 27,580冊の小冊子を配布することができました。詳細は P17 に掲載しています。

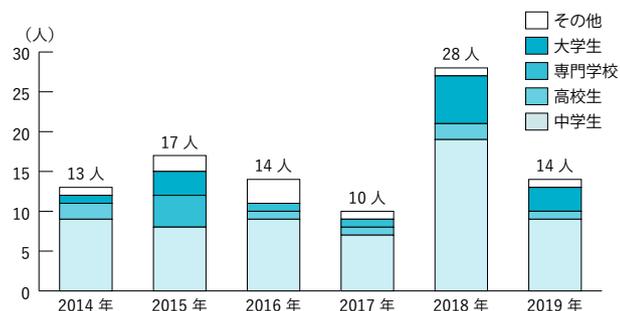
社会活動マネジメント報告

私たちは「CSRは経営そのもの」の考え方のもと、社会に対して働きかける活動にもマネジメントシステムを適用し、可能な限り目標と実績を管理し、ステークホルダーに対する効果と自社の経営への効果を測定、取り組みに対する評価を通じて改善するという、PDCAの管理サイクルを採用しています。

インターンシップについては2020年度は1名の受入にとどまっていますが、十分な感染予防策を講じていつでも受け入れできる態勢を整えています。

[子どものキャリア教育支援]

・職業体験・インターンシップ受入人数の推移



・はまっ子未来カンパニープロジェクト2019

横浜市立大口台小学校（学校&地域紹介パンフレット作り）

横浜市立緑園西小学校（地域ガイドブック作り）

横浜市立汐見台小学校（エコバックの制作と販売）

・出前授業・職業講話（2019年度）

横浜市立緑が丘中学校

横浜市立横浜総合高等学校

[ありがとうの日実施状況（2019～2020）]

実施年月	テーマ	対象者	達成度	評点
19.11	ブラックアウトを体験しよう	従業員	100%	4
19.12	大口 AED マップ	地域住民	100%	3
20.01	協進印刷の社員紹介と顧客アンケート	顧客	83%	1
20.04	福祉系シンボルマーク勉強会	従業員 地域住民	98%	4
20.05	地域の子どもたちへ「Stay Homeグッズ」配布	地域住民	140%	4
20.07	ほっともっと理解し合おう親睦会	従業員	78%	3

[寄付・協賛]

- ・認定 NPO 法人エンパワメントかながわ
（母校に CAP を贈ろうプロジェクト寄付）
- ・認定 NPO 法人国連 WFP 協会
（WFP チャリティエッセイコンテスト 2019 協賛）
- ・横浜市資源リサイクル事業協同組合（環境絵日記 2019 協賛）
- ・県内のこども食堂（まち保育ぬりえ寄贈）

『感染予防のために、できること』の発行

世界が完全に新型コロナウイルスに飲み込まれた本年3月、一人でできる感染予防のための絵本を発行しました。フェイクも含め曖昧な情報の氾濫に対し、正しい行動により少しでも平穏な心を取り戻してもらえればとの思いから、医療従事者、デザイナーらとSNSグループで打ち合わせを重ね作成しました。

初版は1,000冊を主に地域の子ども向けに無料配布。データは無料ダウンロードできるようにしましたが、冊子として配布したいという依頼が相次ぎ、企業、団体、病院など、10月末現在で、27,580冊(有償含む)を全国に配布することができました。

「安心しました」や「続けています」などの声をいただき、本業を通じて社会の役に立てたことを嬉しく思います。



このポスターは、当社のウェブサイトから無料ダウンロードできます



毎日多くの情報で不安に駆られている方が多いことでしょう。しかし、科学的に証明されたコロナウイルスの予防法はとても簡単です。ここに記されたことを心がけるだけです。自分と家族のために。

Many of you are very anxious due to the infodemic of coronavirus. But scientifically proven prevention strategies are very simple. Here is the list of all you have to do to protect yourself and your family.

渋谷 健司 King's College London
Kenji Shibuya (King's College London)

学に裏打ちされたシンプルな日常の心がけは、新型コロナウイルス感染予防にとっても大切です。しかも、メディアの不確かな情報でも、医療サービスでもなく、皆さん自身のちょっとした行動の重ねが、もっともたくさんの方の命を救うことでしょう。

A simple, routine daily practice shown here is evidence-based and essential to prevent infections. It is very powerful, and probably more impactful than politicians, the media and doctors like myself, and eventually save hundreds of thousands of lives.

碓波 竜彦 慶応義塾大学
Ryuichi Iwanabe (Keio Medical Center)

2m
maintain social distancing
距離を取る

ご賛同いただいた企業や団体を通じて多くの人に冊子を届けることができました。

印刷協力：大石七喜製版株式会社、大石七喜製版株式会社

www.bowgraphics.net/covid19
@ancov2020

監修：
渋谷 健司 (キングス・カレッジ・ロンドン)
碓波 竜彦 (慶応義塾大学)
野成 真 (国立国際医療研究センター)
久住 英二 (ナビスタクリニック)

Supervision:
Kenji Shibuya (King's College London)
Yoshie Hayashi (Keio Medical Center)
Narumi Hori (National Center for Global Health and Medicine)
Eiji Kusumi (Navitas Clinic)

デザイン/イラスト：野成 真 (国立国際医療研究センター)
印刷/装幀：竹内 正一 (株式会社デザイン)
編集/写真撮影：株式会社デザイン

Designer / Illustration: Yashie Hayashi (National Center for Global Health and Medicine)
Print and Color coordination: Masahiko Tsunemi (Inpixon Printing Co., Ltd.)
Web: Yusuke Yoshii (Comsenz Ltd.)

Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License CC BY-NC-SA 4.0

mioまも〜る 危険から身を守るアドバイスボード新発売

2018年10月のありがたいの日をきっかけにはじまった「危険から身を守る啓発ボード」の名称を『mioまも〜る』と改め、商品化しました。

高齢者が生活を送る上で、普段から気をつけてほしい、住宅火災、熱中症、特殊詐欺、感染症という観点から、第1弾として4種類をリリースしました。読みやすさ、わかりやすさに配慮したMUD（メディア・ユニバーサル・デザイン）仕様。各専門機関による監修を受け信頼できる内容となっています。

高齢者への啓発ツールとして、また手軽にできる企業の社会貢献として、多くの皆さまにご活用いただけるよう期待しています。



2018年10月にありがたいの日として実施した地元高齢者への防火ボード寄贈の活動が「mioまも〜る」の商品化につながりました。

高齢者をさまざまな危険から守ろう！



協進印刷では、社会のさまざまな課題に対して、皆さまの快適な暮らしに役立つアイデアをご提案しています。この「危険から身を守るアドバイスボードmioまも〜る」は、高齢者が被害に遭いやすい病気、災害事件に注目し、それらの予防策を専門家のアドバイスを元に検討し、高齢者にも読みやすい書体、わかりやすいデザインでまとめたものです。皆さまの安全な暮らしを守るため、mioまも〜るをぜひご活用ください。



mioまも〜る は…

●4つの課題に対応

- ・熱中症予防（夏）
- ・住宅防火（冬）
- ・特殊詐欺防止（年末年始）
- ・ノロウイルスなどの予防（冬または梅雨）

●こんな使い方がおすすめ

- ・自治会町内会で高齢者世帯に配布
- ・高齢者施設で利用者に配布
- ・イベント時のノベルティとして
- ・企業の社会貢献として、お客様に、近隣の方に…



名入れできます！

安心で安全な暮らしにお役立てください！

- 名入れ価格表（各1種類につき税抜き価格）
- | | | | |
|--------|----------|------|---------|
| 100枚 | 35,000円 | 200枚 | 50,000円 |
| 300枚 | 60,000円 | 500枚 | 72,000円 |
| 1,000枚 | 100,000円 | | |

「mioまも〜る」シリーズの著作権は株式会社協進印刷に帰属します。無断での複製・転載はご遠慮ください。

株式会社協進印刷
http://www.kyoshin-print.co.jp

【お問い合わせ】
cocolabo（ココラボ）営業部 045-431-6611 担当：本橋・竹見

子どものキャリア教育支援

少子高齢化の進展により若者の人材不足が叫ばれる今日、企業の教育参画はますます重要性を増しています。私たちは将来共に働く仲間を、学校や家庭任せにせず、企業も一緒に育てることが、文字通り企業の社会的責任であると考えています。

横浜市教育委員会の「はまっ子未来カンパニープロジェクト」、市内中学生の職業体験学習、中学校・高校等での職業講話、県内外大学生および台湾からのインターンシップ、大口台小学校3年生での子どもへの暴力防止プログラム「CAP (Child Assault Prevention)」などを実施し、子どもたちの健やかな育ちを応援しています。



はまっ子未来カンパニープロジェクトとは

横浜市では、横浜で学ぶ子どもたちが未来を生きていく力をはぐくむために、学校と社会が一丸となった横浜らしいキャリア教育「自分づくり教育」を推進している。

学校と企業等の外部機関が連携し、企業や地域の課題を児童生徒が主体的に考え、解決する取り組みを通して、「自分づくり教育（キャリア教育）」を推進し、児童生徒の望ましい勤労観・職業観や、地域貢献意識を育むことを目的として、平成28年度より文科省補助事業として「はまっ子未来カンパニープロジェクト」を実施。令和2年度は横浜市独自の事業として継続実施している。

第4回目となった令和元年度は、39校、82の連携団体・企業が参加、大人と子どもが一緒になってさまざまな事業に取り組んだ。



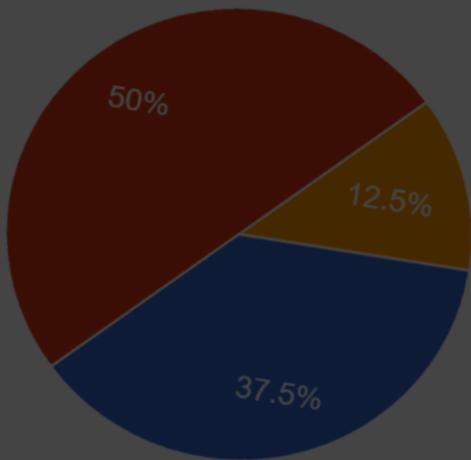
当社とはらべこパブリッシングが協力した緑園西小の地域情報誌「緑園 FIVE」

04

ガバナンス面

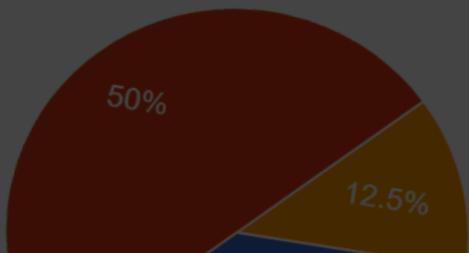
目標に向かって 実現可能性を高めるために

- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- 全くあてはまらない



- 全くあてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえばあてはまらない
- 全くあてはまらない

グループや個人ごとに、教育・訓練の目標が明確にされている。



- 全くあてはまる
- どちらかといえばあてはまる
- どちらともいえない

87.5%

今の職場やこの仕事に関わる一員であることを誇りに思っている。

※ 2020年6月実施のES調査より

毎年実施している中災防「快適職場調査（ソフト面）」を利用した従業員満足度（ES）調査で、87.5%が「今の職場やこの仕事に関わる一員であることを誇りに思っている」と回答しました。仕事や教育面での満足が高い一方で、待遇面や休暇、健康等については課題の残る結果となり、今後の改善が必要と考えています。

ガバナンスマネジメント報告

[コンプライアンス] 2019 年度

法令違反、行政指導等：0 件

[お客様からのご意見・苦情等] 2019 年度（前年比）

仕様・品質に関すること : 13 件 (77%)
 印刷物の内容に関すること : 3 件 (25%)
 金額に関すること : 1 件 (17%)
 情報セキュリティに関すること : 3 件 (75%)

[情報セキュリティ不適合事案] 2019 年度（前年比）

不適合 : 2 件 (+ 1 件)
 重大ヒヤリハット : 0 件 (- 2 件)
 ヒヤリハット : 1 件 (- 3 件)

[ワークライフバランス] 2019 年度

	正社員			フレキシブル社員		
	目標	実績	昨年比	目標	実績	昨年比
時間外勤務 (月平均)	10h	11.2h	- 2.6h	0h	1.3h	- 0.1h
有給休暇取得	75.0%	80.4%	124.9%	100.0%	87.5%	97.7%

[社員教育] 2019 年度

セミナー受講：323 時間（目標 300 時間）
 情報セキュリティ教育：全従業員の理解度調査を実施
 読書：82 冊（目標 89 冊）

[従業員満足度調査] 2019 年度

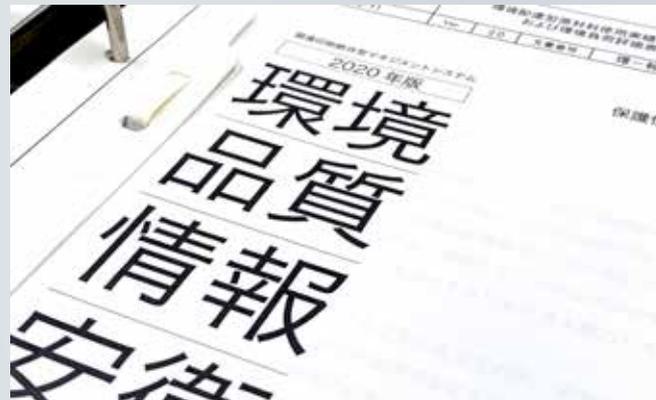
5 点満点で半分以上の項目が平均 4 点以上と高水準ですが、待遇面に関する項目では 3.7 点となっており改善が必要と考えています。

また、近年有給休暇を取りやすくする取り組みをしており、取得率は上がってきていますが、それ以上の長期休暇の制度がないため、休暇制度の見直しも課題です。

他には社内に心や身体の健康相談に乗ってくれる専門スタッフがいないことも課題としてあがっています。年に 2 回の産業医面談を実施してはいますが、日常的な相談には対応できないので、近隣の医療機関と連携するなどの対策を検討したいと思っています。

”全員が監査員”の内部監査

環境、情報セキュリティ、CSRと広範囲に及ぶマネジメントシステムの内部監査実務にはかなりの力量が求められることから、どうしても内部監査ができる人材に限られてしまい、全体のレベルアップにつながらないという課題がありました。そこで今年度は、監査項目を細分化することで監査にかかる個人の負担を軽減するかわりに、全員が何らかの監査に携わるという方法を採用しました。監査にあたっては自ら監査を担当する取り組みについて事前に勉強するため、業務では担当外のことにも精通することができ、これを何年か継続することで、徐々にマネジメントシステムの全体像が把握できるようになり、レベルアップにつながっていくと期待されます。



兼業規定の策定

平成29年の「働き方改革実行計画」に副業・兼業が盛り込まれたことによって広がりつつある「副業」。「複業」や「福業」などいろいろな表現があるようですが、当社では、こちらが「副」になるケースも想定して、2020年10月1日「兼業取扱規程」を制定しました。多様な働き方を認めることで、広く人材を確保すると同時に、当人のオーバーワークを防ぐために、合計で週40時間を原則とする規定としています。まだ施行して間もないこともあり今のところ該当者はいませんが、柔軟な働き方をサポートしつつ、従業員の健康管理にも配慮し、長く健康で豊かな人生を送れる企業になっていきたいと思っております。

各種認定



E3PA 環境保護印刷（クリオネマーク） 認定

2006年2月 認定

<http://www.e3pa.com/>



グリーンプリンティング工場 認定

2007年6月 認定 2019年6月 更新

<http://www.jfpi.or.jp/greenprinting/index.html>



PISM 印刷業情報セキュリティマネジメントシステム 認定

2013年3月 認定 2017年3月 更新

<http://www.kanagawapia.or.jp/pism.html>



横浜型地域貢献企業 認定

2009年3月 認定 2019年3月 更新・プレミアム企業表彰・10年表彰

<http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>



全印工連 CSR ツースター 認定

2015年6月 認定 2019年6月 更新

<http://www.aj-pia.or.jp/csr/main.html>



よこはまグッドバランス賞

2015～2018年度 認定 2017年度 ブロンズ認定

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/danjo/hyoshou/>



2020CSR報告書

発行：株式会社協進印刷

発行日：2020年11月20日

〒221-0003 横浜市神奈川区大口仲町108

TEL.045-431-6611 FAX.050-3730-6273

<http://www.kyoshin-print.co.jp>



<http://www.kyoshin-print.co.jp>